



(商学部・観光産業学科 履修モデルの説明)

【2年次・4セメスター以降、卒業まで】

▼1年次に英会話を選択し、学年末のTOEICで500点以上をマークする。

▼2年次の夏季休業期間を利用しカナダへの夏季研修[各年開催・有料]を行いホームステイも行う。

▼3年次からはAPQ科目のPAL (TOEIC英語)を選択し、650点以上の獲得を目指します。

▼専門関連科目は欧米地域に関係する科目を中心に勉強し、英語力のみならず欧米の経済・社会・政治を分析する力をつけていきます。

▼2年次・4セメスターに観光産業学科を志望し許可となった以降は、専門科目A群を基盤科目とし、発展科目のB群、応用科目のC群に分けて配置されており、基礎から応用までをスムーズに学習できるシステムとしています。

▼卒業後は旅行業かホテルへの就職を希望しているため、観光産業学科の専門科目を幅広く履修しています。並行して総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目標に旅行業務論を選択しました。

▼国際経済の視点から観光ビジネスを研究するゼミナールではヒトと接するビジネス現場ではホスピタリティ精神が重要であることを知り、「商い」の基本を学ぶため、商学科の専門科目も履修を始めました。ヒトをもてなすサービスとはどういうことか、商学の視点から研究が深まっています。